

開講期	2025年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	3632 教職概論			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	水曜1限				
教室	B201教室				
代表教員	辻 直人				
担当教員	辻 直人				
テーマと到達目標	現代社会における教職の意義、教員の役割・資質能力を理解して教職への意欲を高めると同時に、受講生自らが適正を判断し、進路選択に資するよう、その職務内容を把握することを目標とする。具体的に、歴史の中の教師、特に戦後の教育を切り開いてきた教師の実践と現代の教育実践を対比して考えることを通して、「現代に求められる教育」を教師の立場で考える。				
概要	教職は人の成長に関わる尊い職種であり、子どもがただ好きであるということだけでは務まらない「重み」のある仕事である。本科目では、教職の意義や教員の役割・職務内容等について理解し、教職の担う責務と使命について考察する。この科目を通して、自らの教職への適正を見極め、責任を持って以降の教職科目履修を続けられるか自己判断できるようにしてもらいたい。教職の意義や目的、職務内容、教員労働実態などについて考察した上で、具体的な教師の教育実践を取り上げて、教師という仕事についてより掘り下げていくことにする。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員 (複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	授業計画・成績評価等についての説明、教師という仕事をどう考えているか				対面授業
第2回	教職の意義及び教師の魅力と責任について				対面授業
第3回	教師の役割 (教師像) の変遷について、現代の教師に必要な力とは何か				対面授業
第4回	教師の職務内容について、1日の流れ理解と労働実態について				対面授業
第5回	教師の子ども観について				対面授業
第6回	学級経営力及び子ども同士をつなぐことについて				対面授業
第7回	管理能力・見守る力について				対面授業
第8回	保護者及び地域の人たちと関わる力について				対面授業
第9回	授業をつくることについて (教える力、学ぶ力について)				対面授業
第10回	社会へのアンテナを持つことについて				対面授業
第11回	学校における協働性、チーム力について				対面授業
第12回	金森俊朗研究 (子ども観)				対面授業
第13回	金森俊朗研究 (教育論)				対面授業
第14回	金森俊朗研究 (授業論)				対面授業
第15回	まとめ、現代に求められる教師とは				対面授業
成績評価の基準	①各回の授業での課題提出50%。②期末レポート50%				
履修にあたっての留意事項	オンライン授業に移行した場合は、資料配信型授業となります (和光ポータルを使用)。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限 (抽選) 授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	特になし。		
教科書	行田稔彦、渡辺恵津子他『希望を紡ぐ教育』生活ジャーナル、2018年 金森俊朗、辻直人『学び合う教室 金森学級と日本の世界教育遺産』角川新書、2017年	教科書(ISBN)	
参考文献	池田修『新版 教師になるということ』学陽書房 田中耕治編著『時代を拓いた教師たち』日本標準 鹿嶋真弓『教師という生き方』イースト・プレス 辻直人「学びの共同性・開放性の今日的意義」『生活教育』第721号(平成20年12月、日本生活教育連盟) 辻直人「教師の労働実態改善の必要性—生活教育改善のために」『生活教育』第862号(平成29年9月、日本生活教育連盟)	参考文献(ISBN)	